

2021 年度実施概要

学校名

新居浜市立惣開小学校

採択活動名

海の恵みで発展してきたふるさとを学ぶ～多喜浜塩田を未来に伝えよう～

実施単元 ※実施した単元の数に応じて記載してください

単元名	学年	教科
1. そうびらきぶらりウォーク	4年生	国語、社会、総合
2. 地球の環境について考えよう	5年生	国語、社会、理科、総合
3. 多喜浜塩田を学ぶ	6年生	総合

取り組みの概要

校区には、住友別子銅山にゆかりのある産業遺産が点在しており、かつて、煙害や森林伐採の解決に尽力した住友の先人たちの足跡が数多く残っている。まさに、山や川とのつながりを通して海の自然を守ってきた校区である。学校と地域のパートナーシップを構築し、多様なステークホルダーとの協働による学校と地域をつなぐESD活動を通して、自ら学び、自ら考え、持続可能な社会づくりに参画・貢献できる人材を育成するとともに、未来の海や環境を守る気持ちを育て、自らの行動化につなげていく。

(1) 4年生「ふるさと」「自然環境」

惣開校区の歴史や別子銅山の産業遺産、住友の企業グループなど地域との関わりなどについて調べる中で、住友の先人たちが「百年先の街づくり」を目指して、森林伐採や海洋汚染、煙害などの対策に尽力したことを学んだ。新居浜市の発展の歴史や誇る文化・史跡について理解し、地域を愛し、誇りに思う心情と地域文化のすばらしさを実感し、伝承し守っていこうとする態度を育てることができた。

また、この活動を通して学んだことを、惣開校区にある歴史的文化的な史跡を巡り、ガイド役となり保護者に紹介した。自分たちの故郷の魅力を発見し、地域を愛する心情も深めることができた。

**(2) 5年生「自然環境」**

惣開小学校の中庭にフジバカマを植え、アサギマダラを呼ぶ活動に取り組んだ。愛媛県総合科学博物館から講師を招いてアサギマダラの生態や飛行ルート、マーキングの仕方を学習し、アサギマダラに対する関心を高めた。南西諸島から海洋を長距離移動するアサギマダラの特徴を知ることによって、海洋環境をはじめとする広い視野での環境教育を推進することに結びついている。校内のフジバカマガーデンへは、近年になくアサギマダラが多く見られ、36頭の飛来があった。

**(3) 6年生「多喜浜塩田を学ぶ」**

多喜浜公民館と塩の学習館で、塩田から塩を作る過程や塩づくりの苦労、入浜式塩田と流下式塩田の違いなど多喜浜塩田の歴史と、実際に塩づくりの体験を通じて、海の恵みである塩の大切さを学んだ。体験活動などを通して、海の恵みの大切さを感じ、豊かな自然を守っていこうとする意識をたかめることができました。

